

HuMA News Letter

岩手県大槌町児童自然体験活動支援事業の報告 8/1～8/3 2012年に開始した東日本大震災の被災地を支援するプロジェクト 第6回サマーキャンプ <秋田駒ヶ岳登山と田沢湖カヌー体験>

東日本大震災で被災した地域の小学校5年生・6年生の児童をサマーキャンプに招待し、野外での様々な自然体験活動を通じて、心身のたくましさや自然への親しみを育む取り組みも、今年で6回目を迎えました。2012年の第一回開催時に小学校1年生であった児童が、今年は小学校6年生となり、兄・姉に続いてサマーキャンプに参加する姿に、6年に亘り本事業を継続してこれた感慨と、多くの方々から寄せられた御支援・御協力への感謝を実感しています。(※ 2017年 参加児童25名 総勢48名)



○今年のテーマ:「歴史と水に親しみ、花の山 秋田駒ヶ岳に登ろう」

第1日目(8月1日): 瀧分校と幻の魚クニマスの歴史に触れる

昭和49年に廃校となっていた木造の小学校校舎が修復され、平成16年に公開された「思い出の瀧分校」を訪問しました。昔のままの机や椅子に座り瀧分校の歴史を体験しました。午後に訪れた「クニマス未来館」では、「さかなクン」が発見したことで有名となった、幻の魚クニマスの展示を見学しました。クニマスは田沢湖にのみ生息していたが絶滅したとされていたサケ科の淡水魚ですが、2010年に、さかなクンと京都大学のチームが山梨県西湖での生息を発見しました。7月に開館したばかりのクニマス未来館では、田沢湖の歴史と文化・未来へのメッセージを学びました。



○ 好天の駒ヶ岳(男女岳)山頂から見渡すパノラマとカヌー体験

第2日目(8月2日) 秋田駒ヶ岳登山

太平洋に面する海の街である大槌町の児童にとり、登山体験は新鮮な中にも体力的には大変であった様子ですが、山頂に到達した時の達成感や、眼下に田沢湖を一望する展望には疲れを忘れての感動がありました。下山途中での昼食のお弁当は、格別のおいしさでした。

※ 児童の登山には、共催者である東北マウンテンガイドネットワークのガイド(日本山岳ガイド協会 認定)複数名が全行程付き添い指導・監督し、参加児童の安全には万全を期しています。

第3日目(8月3日) 田沢湖カヌー体験と昼食(ピザ)作りに挑戦

前日山頂から見下ろした田沢湖でカヌーを体験。大槌町の海と秋田駒ヶ岳の山を水が繋いでいることを実際の活動を通して学びました。下船後には、ピザの手作りにも挑戦。自分達で作った昼食はどんな味だったのでしょうか。(※本事業経費の一部は「子ども夢基金」よりの助成を受けています)



短信 : ラオスの救急隊に足元から安全を～防水安全靴の寄付

堺の消防署で集めて頂いた、たくさんの防水安全靴をラオスの救急レスキュー隊(ボランティア団体)に届けました! 実施期間:平成29年4月5日～8月23日

ご支援頂いた会社・団体:堺市消防局(安全靴寄贈)、UPS(輸送全般)、サカイ引越センター(梱包等)、富士テクノグローバル(梱包等)

ラオスには公的機関としての救急レスキュー隊が無く、民間ボランティア団体であるLao PDR-Rescueが活動しているが、装備品の不足からサンダル等を履いて出動していることをラオス出張中のHuMA会員が知り、堺の消防署の協力を得て、中古の防水安全靴をラオスに寄付する手配を開始。梱包や輸送に支援団体様から協力を取り付け、無事たくさんの防水安全靴をラオスに届けることができました。



○ 会員募集・寄付金のお願い

HuMAでは本会の活動方針にご賛同いただける会員・賛助会員及び活動資金の寄付金を随時募集しております。

資料請求のお問い合わせ、銀行振込の場合で領収証をご希望の場合、また**寄付者の掲載について**
匿名をご希望の方は下記事務局までご連絡を頂きますようお願い致します。

寄付金受付先

[銀行]

みずほ銀行 根津支店 普通預金口座 8010278
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会
理事長 前川 和彦

[郵便局]

口座No. 00190-6-569149
口座名: 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

ただいまの会員数474名
・正会員・登録会員354名
・賛助会員120名
(2017年10月末現在)

発行＝認定特定非営利活動法人 災害人道医療支援会
連絡先＝東京サポート事務局 〒154-0002東京都世田谷区下馬1-32-4アールホフ今井201
TEL/FAX: 03-3413-7510 Email: tso@huma.or.jp ホームページ <http://www.huma.or.jp>